

兵庫県医師会医療支援チーム（第1陣）「宮城県災害支援現地報告」

常任理事 豊田 俊

3月21日（月）早朝、兵庫県医師会医療支援チーム第1陣として川島会長、豊田が山形空港着、前日先行の事務方（武田、木村、寺川、安慶名、江口、角）と仙台へ。宮城県医師会にて役員から状況把握、お見舞金を手渡す。兵庫県看護協会看護師（神崎、竹村）待機。石巻赤十字病院の現地対策本部にて責任者と情報交換。13:30 石巻市立中学校着、避難所（体育館や教室に約700人の被災者）視察後、同中学2階教室に「兵庫県医師会診療所」設置、午後診療。医師会災害MLに当日状況報告。宿舎着は21:00前後、事務方の夕食準備に感謝。一室2～3名で一部寝袋使用。

22日（火）、石巻市医師会役員と面談。拠点診療所での診療は9:00～12:00、15:00～17:00、避難所への巡回診療13:00～15:00とした。

23日（水）、午前途中から兵庫県薬剤師会員1名応援。（受診者数75名）

24日（木）、午後、西田副会長、田中常任理事、松田会員（眼科）合流。

13:00～15:00も診療。石巻赤十字病院のミーティングへ田中先生出席。（受診者数102名）。

25日（金）、豊田他は南三陸町の被災・避難所の状況を視察、所轄警察と面談し検死協力を伝えた。

概略、診療所では高血圧、糖尿病、喘息などの慢性疾患や緑内障が目立ち、感染性胃腸炎、脱水症、気管支炎などで輸液を要した。急性循環不全などで日赤搬送も数例。医薬品不足で処方日数を制限。受診が増すにつれ、窓口対応、カルテ・薬剤整理、処方説明の手間が増した。不足医薬品の調達は石巻市医師会、石巻市、そして兵庫県へ依頼、余裕分は志津川町へ届けた。

15:00過ぎ、川島会長、豊田は石巻市立病院被災状況を視察後、帰神のため山形空港へ。今後、何よりも被災を受けた皆さんの生活とこころを支えていくために、継続的な長期支援を我々全体でいかに考えていくかに思いをしながら。

